2017.4.9

大学院技術英語（CSプログラム）ガイダンス

情報・ネットワーク工学専攻　CSプログラム 佐藤証

　英文論文の輪講と卒論の英語での発表を行ってもらいます．卒論発表は各自となりますが，輪講は一人づつ行う場合と，およそ5人づつに分かれたグループで行う場合があります．発表だけでなく，それに対する質疑応答も評価の対象となります．

発表の順番とグループ分けは基本的に出席号順となります．全体を出席番号順に半分に分け，前半の人またはグループが発表する場合は，後半の人またはグループが質問・コメントを行い，逆に後半の人達が発表する場合は，前半の人達が質問・コメントをすることになります．

発表は必ず英語ですが，質疑応答は日本語でも構いません．質問は挙手で自発的に行ってもらいますが，手が上がらない場合は教員が学生を指名します．また，教員が質問をする場合があります．前半（または後半）の学生の発表に対して前半（または後半）の学生が質問しても構いません．

指定された日の発表が困難な場合は事前に，また当日やむを得ない理由により欠席した場合は事後に教員に申し出て，必ず発表日の調整を行ってください．

講義資料の一部は，下記のURLに掲載します．

　　http://satoh.cs.uec.ac.jp/ja/lecture/TechEnglish/index.html

1. スケジュール・担当教員・内容
* 第1～3回（4/9，4/16，4/23） 担当：佐藤証

国際会議への論文投稿から参加発表まで，どのような過程を経てどのようなことが行われるのかを実際の会議の様子等をビデオを交えて解説します．また，参考となる論文の解説やお手本となるプレゼンテーションビデオの紹介も行います．

* 第4～第6回（5/7, 5/14, 5/21）　担当：戸田

3回の講義うちの最初の2回は出席番号前半の学生に，事前に指定された論文の指定されたパラグラフを訳します．それに対して出席番号後半の学生は質問をします．最後の1回は，当日配布された論文を，出席番号前半のグループがその場で順番に訳していきます．それに対して後半のグループが質問を行います．

* 第7～9回（5/28, 6/4, 6/11）　担当：寺田

第4～6回と同じ形式で行いますが，発表は出席番号後半の学生・グループ，質問は出席番号前半の学生・グループとなります．

* 第10～12回（6/18, 6/25, 7/2）　担当：吉永

3回の講義で，出席番号前半の学生が一人一人順番に，卒論で使用したスライドをそのまま英語に直して英語で発表を行います．それに対して出席番号後半の学生が質問を行います．質問およびそれに対する回答は日本語でも構いません．

* 第13～15回（7/9, 7/23, 7/30）　担当：策力木格

第10～12回と同じ形式で行いますが，発表は出席番号後半の学生，質問は出席番号前半の学生となります．

1. 評価方法

各担当教員の評価を総合して成績を決定します．グループ単位での発表・質疑での各自の評価は，自分が所属するグループの評価となります．発表内容だけでなく，積極的な質問やコメントは評価加点の対象となります．また，第1~3回では講義の終わりに用紙にコメント記入してもらいますので，それも評価の対象となります．

以上